

第3回 国際産学連携拠点に関する検討会 議事要旨

日時：平成27年1月6日（火）14：00～16：30

場所：経済産業省本館17階第2特別会議室

出席者：小沢委員、角山委員、原委員、小原委員、古賀委員、中村委員、山名委員、森山委員、瀬戸委員、劔田委員、松田委員、石崎委員、近藤委員、大沼委員代理（菅野委員代理出席）、袖岡委員、戸高委員、松本委員、坂本委員、西田委員、星野委員、上田委員代理（宮本委員代理出席）、新川委員、豊島委員

議題：1. 国際産学連携都市に求められる機能について
2. 会津大学の経験から見たイノベーション・コースト構想
3. 国際産学連携拠点に対する福島高専及びいわき産業界の考え方
4. 自由討議

議事概要：

- (1) 国際産学連携都市に求められる機能について、小沢委員より説明。
- (2) 会津大学の経験から見たイノベーション・コースト構想について、角山委員より説明。
- (3) 国際産学連携拠点に対する福島高専及びいわき産業界の考え方について中村委員より説明。
- (4) 自由討議
委員からいただいた主な意見は以下のとおり。

- ・ 浜通りに置いていく拠点にどのような機能を配置するのかを、整理していく必要がある。
- ・ 大きな実験装置や共用装置を設置することで、全国から人が集まってくるものはある。
- ・ ハードは時間が経過すれば陳腐化してしまう。人的なネットワークを就職後の将来にわたって維持できる仕組みがあれば魅力的ではないか。
- ・ 産業のイノベーションを考えると、単に産学官が集まるだけではイノベーションは生まれにくい。イノベーションを起こす知恵やイノベーターの育成機能も産学連携拠点にあるとよい。
- ・ ロボットやエネルギーの話が出てきたが、それ以外にもリサイクルや農林水産業についても、既に並行して議論を進めている。これらの連携の拠点としても国際産学連携拠点を活用できるのではないか。